

RIMS 共同研究 (公開型)
関数空間論とその周辺

京都大学数理解析研究所の共同研究事業の一つとして、下記のように研究集会を催しますので、ご参加頂きますようご案内申し上げます。

研究代表者 松岡勝男 (日本大学経済学部)
副代表者 大和田智義 (静岡大学教育学部)

記

日時：2019年12月9日(月)9:15～12月11日(水)11:55
場所：京都大学数理解析研究所1階110号室
京都市左京区北白川追分町
市バス 京大農学部前 または 北白川 下車

プログラム

12月9日(月)

- 9:15–9:20 開会の挨拶
- 9:20–9:45 山本 涼介 (信州大学)
“Sparse domination of Fourier integral operators”
- 9:50–10:15 森藤 紳哉 (奈良女子大学)
“Two-microlocal analysis の新たな展開に向けて”
- 10:20–10:45 菊池 万里 (富山大学)
“弱型 Burkholder 不等式の成り立つ関数空間”
- 11:00–11:45 中井 英一 (茨城大学)
“Pointwise multipliers and generalized Campanato spaces with variable growth condition I ”
- 13:05–13:30 河邊 淳 (信州大学)
“非線形積分が定める関数空間の完備性”
- 13:35–14:00 三沢 正史 (熊本大学)
“ m 調和写像熱流の特異性について”
- 14:05–14:30 澤野 嘉宏 (首都大学東京)
“モレー空間に関する最近の研究動向について”
- 14:35–15:00 水田 義弘 (広島大学名誉教授)
“Hardy-Sobolev inequalities in the half space”
- 15:15–16:00 藪田 公三 (関西学院大学)
“Characterizations of $VMO_{\Delta_N}(\mathbb{R}^n)$ space”

16:10–16:55 小川 卓克 (東北大学)
“放物型発展方程式の端点最大正則性と応用 I ”

12 月 10 日 (火)

- 9:05–9:30 三谷 健一 (岡山県立大学), 斎藤 吉助 (新潟大学)
“Some results on geometrical constants for absolute norm”
- 9:35–10:00 斎藤 吉助 (新潟大学), 田中 亮太郎 (東京理科大学),
小室直人 (北海道教育大学)
“ラドン空間の新しい特徴付けについて”
- 10:05–10:30 大和田 智義 (静岡大学)
“接合積の極大部分環について”
- 10:35–11:00 藤井 正俊 (大阪教育大学)
“Generalizations of Bebiano-Lemos-Providência inequality”
- 11:15–12:00 中井 英一 (茨城大学)
“Pointwise multipliers and generalized Campanato spaces with variable growth condition II ”
- 13:05–13:30 木村 泰紀 (東邦大学)
“測地距離空間における凸結合の考察と不動点近似”
- 13:35–14:00 青山 耕治 (千葉大学)
“強非拡大性をもつ写像列の不動点近似について”
- 14:05–14:30 厚芝 幸子 (山梨大学)
“Attractive points, acute points and convergence theorems for families of nonlinear mappings”
- 14:35–15:00 柳 研二郎 (城西大学)
“Uncertainty relations represented by tracial or non-tracial positive linear maps”
- 15:15–16:00 佐藤 秀一 (金沢大学)
“Characterization of some function spaces by square functions”
- 16:10–16:55 小川 卓克 (東北大学)
“放物型発展方程式の端点最大正則性と応用 II ”

12 月 11 日 (水)

- 9:05–9:30 瀬尾 祐貴 (大阪教育大学)
“負冪の幾何平均に関する数域半径不等式”
- 9:35–10:00 高橋 眞映 (山形大学名誉教授)
“正数空間上の数猫演算について”
- 10:10–10:55 中井 英一 (茨城大学)
“Pointwise multipliers and generalized Campanato spaces with variable growth condition III ”

11:05–11:50 小川 卓克 (東北大学)

“放物型発展方程式の端点最大正則性と応用 III ”

11:50–11:55 閉会の挨拶

本研究集会は，京都大学数理解析研究所および下記の科学研究費補助金の援助を受けています。

基盤研究 (C) (代表者 松岡勝男，分担者 水田義弘，中井英一，澤野嘉宏)

研究課題番号：17K05306 「Wiener の一般調和解析に端を発する関数空間の深化と展開」

